

【発表概要】

ちば千産技術（3技術）

題 名	概 要	発 表 者
ちば千産技術①【R01C-2-1】 上下分割式 偏芯自由勾配側溝 「分割偏芯Cドレーン」	本製品は、従来の門型で底無し自由勾配側溝を、上部の門型と下部のU型に分割した構造にし、フルオープンになった開口部からインパットコンクリートの墨打ち、打設、均し、左官仕上げ等を行い、作業の省力化等を図った上下分割式の自由勾配側溝である。	共栄建材工業(株) (関宿工場 野田市)
ちば千産技術②【R01C-2-2】 環境配慮型型枠「カタパネル」	コンクリート型枠の多くは、南洋材の合板で作られ、3～5回程度転用後に産業廃棄物として処分されていたが、本製品は転用性に優れており、転用することにより工事現場での合板の産業廃棄物発生を抑制する。従来の素材の型枠と比べ、軽い・錆びない・腐らない・アクが出ない・ササクレが無い・光を通すなど様々なメリットを有する。	天馬(株) (野田工場 野田市)
ちば千産技術③【R01C-2-3】 雨水貯留ハイブリット式 災害時用トイレ 「レスキュート」	大容量の便槽と雨水貯水槽を併設することで、機能性に優れた快適なトイレ環境を長期間保てる、オールインワンの災害時用トイレシステムである。便槽の排出口は開閉式ゲートのため、下水道が崩壊又は行政からの使用停止が発令された場合でも排出口が密閉できるため、大容量の貯留槽に溜めることができ、トイレが復旧されるまでの期間継続して使用が可能となる。	ゼニス羽田(株) (千葉工場 山武郡横芝光町)

新技術（8技術）

題 名	概 要	発 表 者
<p>新技術①【R01S-2-1】 3次元点群処理ソフトを用いた施工土量計測システム 「TREND-POINT」</p>	<p>通常現地測量を行うには、測量機器（トータルステーション）を使用し計測したいポイントに対し1点1点測量を行っているが、3次元測量をすることにより計測したい場所を広範囲で短時間に計測が可能となった。これにより自然災害等で1次対応（調査）を迅速に行うことが可能となり、災害現場等の近くまで行かなくても計測ができるため2次災害も防ぐことができる。</p>	<p>福井コンピュータ(株)</p>
<p>新技術②【R01S-2-2】 自動荷重測定装置を搭載したバックホウを用いた積算重量管理システム 「LOADEX100」</p>	<p>本技術は、バケット内積載重量を計測することによりダンプトラックの積載重量を管理するシステムである。バケット内積載重量の計測による積載重量管理に変えることにより、リアルタイムでの積載重量を確認でき、適正重量まで従来より精度よく土砂を積み込むことができるため運搬作業効率が向上し経済性の向上が図れる。</p>	<p>(株)トプコンソキアポジショニング ジャパン</p>
<p>新技術③【R01S-2-3】 中層地盤改良ガイダンスシステム</p>	<p>中層地盤改良工事において、油圧ショベルに設置したGNSS又はTSとブームなどに装着した傾斜計から改良装置刃先の3次元位置情報をリアルタイムに取得し出来形管理が行え、地中を「見える化」できるシステムである。「施工履歴データを用いた出来形管理要領（表層安定処理等・中層地盤改良工事編）」にも対応しているシステムである。</p>	<p>西尾レントオール(株)</p>
<p>新技術④【R01S-2-4】 緑化植物クラピアをカットした苗を吹付ける緑化工法 「クラピアカット苗吹付緑化工法」</p>	<p>本技術は、芝の約10倍の速度で横に広がり緻密に被覆するクラピアカット苗を用いた吹付緑化工法である。従来、張芝工や筋芝工等に対応していた箇所にも適用可能である。本技術の活用により、施工費用および工程が低減されることになり、直径1cmの白い花が咲くため、施工性、経済性及び景観の向上が図れる。</p>	<p>東急リニューアル(株)</p>
<p>新技術⑤【R01S-2-5】 無繊維透明樹脂型コンクリート表面保護・はく落防止工法 「RTワンガードクリア工法」</p>	<p>本技術は、各種コンクリート構造物に対して、コンクリート表面保護・はく落防止対策をする工法で、コンクリートの延命化対策（塩害対策や中性化対策）をする工法である。連続繊維シート工法と比べ、本工法はシート不要で透明な1液ウレタン樹脂のみで構成されており、攪拌作業不要で、2工程数と作業軽減・工期短縮を可能とし、透明度が高く目視点検も容易である。</p>	<p>(株)ダイフレックス</p>
<p>新技術⑥【R01S-2-6】 スロープガードフェンス工法 「鉛直式落石・崩壊土砂防護柵」</p>	<p>本技術は、斜面災害（崩壊土砂、落石）から民家や道路を防護する杭式の防護柵工法である。支柱間に設置したパネル式のワイヤネットと金網で、土砂の流出を防ぎ、コンクリート基礎を用いない杭基礎構造のため斜面掘削が少なく、スペースがない場所での対策に向いている。</p>	<p>(株)プロテックエンジニアリング</p>
<p>新技術⑦【R01S-2-7】 橋梁点検支援ロボット 「視る・診る」</p>	<p>本技術は、橋梁点検車の使用が困難な橋梁の定期点検作業を支援するもので、吊り足場、大型点検車及びロープアクセス等の特殊点検方法に比べて低コストで提供が可能。点検は橋面上のベース台車（幅1m長さ3m程度）から桁下にアームを挿入しベース台車からの遠隔操作によって挿入したアーム上を可動する各種点検台車（近接撮影、画像計測および非破壊検査等）で点検を行うシステムである。</p>	<p>ジビル調査設計(株)</p>
<p>新技術⑧【R01S-2-8】 トンネル点検システム 「ITOREL（アイトーレル）」</p>	<p>トンネル内の通行を阻害せず、覆工コンクリートの浮きとひび割れを自動検出するシステムである。当該システムを使用することで、変状の位置や形状が高精度に取得でき、経時的変化を把握しながら、高品質なトンネルの維持管理が可能になる。</p>	<p>東急建設(株)</p>